

# 森

# の さ さ や き

会員ジャーナル 第8号



NPO法人  
北海道に森を創る会

2014年1月 発行

特集

成熟社会で注目される「樹木葬墓地」を探る  
桜の木は残った!! 未来の森の「野ねずみ被害」を克服

北斗市に寄贈した150本のエゾヤマザクラを野崎公園に植樹する参加者



# ◆平成25年の主な活動報告◆

## 1. 未来の森関連(函館市)

### (1) 春季行事

#### ①「未来の森」植樹祭<4月30日(火)>

##### 【概要】

- ・小雨の降る中、東部森林室、函館サンモリッツくらぶ、造林企業組合、当会員の59名が参加

##### 【作業】

- ・さくら50本の補植、野ネズミ除資材の取り外し
- ・記念植樹用プレートボールの交換

#### ②北斗市桜並木づくり(合併記念植樹事業)<4月29日(月・祭日)>

##### 【概要】

- ・エゾヤマザクラ150本を寄贈し、提供元「日本さくらの会」の記念碑を建立
- ・大野平野と函館湾を臨む「野崎公園の陣屋街道」に北斗市の高谷市長や北斗市民の皆様と一緒に植樹(表紙もご覧ください)

#### ③道南の樹木と歴史の見聞ツアー

##### 【主な見学(訪問)先】

###### 【福島大神宮】

- ・伊勢皇大神宮の大森(神符)を奉じ鎮座し、1649年に遷宮した神宮
- ・境内の寺院や名木(道の記念保護樹の乳房楡、幹が8本の八針杉 他)などを見学

###### 【松前公園】

- ・早咲き桜、巨木や名木、由緒ある寺院群や、史跡、寺町松前城などを見学
- ・当会の発展に尽力された故川村正氏(道議会議員、日本さくらの会北海道支部長など歴任)に感謝の念を込めて、松前公園内にある光善寺の墓前に参拝

###### 【松前藩屋敷】

- ・人口3万人の栄華を誇った松前藩を再現したテーマパークで、奉行所、商家、問屋、漁家船橋などの見学を通じ、北海道の歴史・経済・文化を学ぶ

###### 【上の国勝山館跡】

- ・1470年頃松前氏初代の武田信広が築いた勝山館(山城)跡地で、200棟の建物跡、10万点の出土品、土葬墓や副葬品などや史跡の説明を受け、当時を偲ぶ

###### 【その他】

- 北斗市の清川陣屋跡、江差町の横山家(道の民族文化財)、海洋丸、姥神大神宮、乙部町の縁桂(右の写真参照)、渡島総合振興局西部森林室、函館山…

### (2) 秋季行事

#### ①「未来の森」育樹祭<10月19日(土)>

<概要> 当会員、東部森林室、函館サンモリッツくらぶの皆様35名参加

<作業> 冬囲い、殺菌剤散布、鼠防除資材装備、広葉樹枝打ち

<特記> 植樹祭に補植した苗木50本に「エゾ鹿の被害」が発生(善後策については雪解け後に検討予定)

福島大神宮の川濯(かわそ)神社に生える樹齢500年の乳房楡(ひのき)

## 2. 茨木記念の森関連(月形町)

#### ①月形町の「サクラ植樹会」に参加<5月24日(金)>

月形町に桜の苗木50本を寄贈し、当会名誉顧問で月形町の櫻庭町長や町民の皆様と一緒に、同町皆楽公園の植樹会と昼食会に参加

#### ②月形棒戸博物館見学、篠津山囚人墓地墓参

- ・明治維新後に多発した内乱の国事犯、反乱分子を隔離や収監した建物に、当時の収監生活の様子や当地の関わりなどを展示した歴史博物館
- ・過酷な環境で、北海道開拓に貢献した史実なども怪妙な説明を受けながら見学
- ・併せて、斬殺や苛烈な道路開削作業などで死亡した1,022人の囚徒墓標に参拝

## 3. その他

#### (1) 北海道森づくりフェスタ2013(当別町道民の森<10月12日(土)>

- ・道民の森で例年実施する「北海道」や「北海道森と緑の会」などが主催の植樹祭で、全道各地から参加
- ・今年は6樹種(シラカンバ、ミズナラ、ハルニレなど)、約2,000本を植樹
- ・当会は植樹祭終了後、関係者を含め16名が道民の森のコテージに宿泊し、懇親を深めた



「未来の森植樹祭」に参加の皆様



未来の森づくりイッソー出陣



小雨にめげず一心不乱に作業



高谷市長とサクラ会会長のツーンアウト



道南の樹木と歴史の見聞ツアー



福島大神宮の川濯(かわそ)神社に生える樹齢500年の乳房楡(ひのき)



月形町の皆楽公園づくりに一役

## 特集 成熟社会で注目される「樹木葬墓地」を探る

樹木葬墓地は、成熟社会を背景に「花や木に包まれた自然の中で眠りたい」「死後は土に還りたい」などの自然回帰の考え方や「お墓の継承問題」などが相まって広まっており、北海道新聞の下記コラムにも掲載されるなど、機運が高まっております。なお、当会でも度々論議された話題でもあります。

〔参考資料〕樹木葬を知る本(干坂峰峰、井上治代 編)、北海道新聞コラム「興味深人」(札幌市立大学講師 上田裕文氏)

### 【樹木葬墓地とは】

- ・1999年以降に登場した自然志向の合法的なお墓で、墓石の代わりに、樹木や花木を墓碑や墓標にする方式
- ・墓地以外に遺骨の埋葬を禁止している「墓地、埋葬等に関する法律」の対象外になる散骨とは異なる

### 【主な特長】

- ・樹木葬の多くは個人墓で、家としての墓地の継承を必要としない
- ・自然思考や自然回帰、エコという考え方に合う
- ・墓石建立に比べて費用が抑えられる

### 【現状と今後】

〔現状〕既存の墓地の一角を樹木葬墓地として整備する形態が多く、土地を所有する僧侶が管理と運営を兼ねており、拡大が困難な状況

〔今後〕遺骨を埋葬した場所に低花木植える「樹木葬専用の霊園」のタイプが増加傾向にあり、平地の森林が多く自然豊かな北海道に有利



【写真提供：榊鎌倉新書様】

## 特集 桜の木は残った!! 克服した未来の森の「野ねずみ被害」

前号では、平成23年度冬にエゾヤチネズミの被害にあった「未来の森の桜」の状況を報告しました。

植本号では、被害当初に想定(覚悟)した「全滅の危機」を回避した成果と、当会中川函館支部長のリーダーシップのもと、函館地区の皆様(林業試験場道南支場、渡島総合振興局東部森林室)および当会の本部と力(函館支部)が一体となり、知識や知恵を結集した奮闘の一端を紹介します。

### 【経緯】

- <平成23年11月> ねずみ被害予防のため、桜類の袋かけ(全数)と2度にわたり殺鼠剤の散布を実施
  - <平成24年 4月> 桜類を中心にエゾヤチネズミによる深刻な被害が発覚
  - <平成24年 5月> 当会函館支部、林業試験場道南支場、東部森林室のメンバー7名で、被害状況を合同調査
- \* 多くの桜の樹皮が食害にあい、全滅が危惧される状況にあった(記録的な大雪による餌不足の被害と推定)

### 【被害状況】

- <全桜類> 205本
- <無害木> 88本(被害が確認されなかった林木)
- <中害木> 26本(樹皮残存が全周に対し4割未満で、保護により生存の可能性がある林木)
- <激害木> 91本(樹皮残存が全周に対し4割以上で、枯死する見込みの林木)

### 【被害対策】

東部森林室普及課、林業試験場道南支場、当会函館支部のメンバーが検討を加えて下記対策を講じ、手厚い保護活動を継続した

- <中害木>
  - ・傷口の防腐と保湿のためのトップジンMペーストを数回塗布
- <激害木>
  - ・トップジンMペーストの傷口塗布と防腐・保湿の応急措置
  - ・最終的な対策として、林木毎に「改植」「台切り」を検討
  - ・春の植樹祭に、枯死した林木の代替を含め桜の苗木50本を補植



【復活した木の下で育樹祭記念撮影】

### 【成果】

被害にあった「約110本の桜が生存」し、その後も順調に成長

### 【考察】

未来の森は、森林トラスト運動の一環として「憩いと癒しの場」を目指し、約5haの土地の整備と延べ約800本の植樹を行い、既存の樹木とともに手塩にかけ育ててきました。そして、木々の成長とともにすっかり森らしくなった矢先に、上記の被害に遭いましたが、関係者が総力を結集して克服することができました。

未来の森の中では、中心的な役割を担う「桜の復活」に向けた一連の努力は、当会のモットーの「子孫からの借り物である森を育む」や「緑も人の心も豊かな北の大地に」の一里塚として、大変意義深いと考えます。



## ◆新たな森づくりの動き◆

### 1. 濱田の森(砂川市宮城の沢、5.4ha)

平成20年に濱田榮盛氏から当会に寄贈された山林で、当地を含む山林団地の林道が整備進捗中

### 2. 茨木時子氏所有山林の現地調査<8月28日(木)>

壮瞥町、八雲町、ニセコ町にある茨木時子氏所有山林の現地調査を実施

なお、当NPO所有の月形町の山林は、平成18年に茨木氏から寄贈されたもの

## ◆平成26年の主な行事予定◆

### 1. 総会

<概要>平成26年度通常総会

<予定日>平成26年5月

<場所>札幌市内

### 2. 未来の森 春季行事

<概要>杉林の間伐、柵の作成(間伐材を利用) 他

<予定日>平成26年5月

<場所>未来の森(函館市)

### 3. 未来の森 秋季行事

<概要>冬囲い、殺鼠剤散布、鼠防除資材装備 他

<予定日>平成26年10月

<場所>未来の森(函館市)

### 4. 茨木記念の森(月形町)関連

<概要>北海道森づくりフェスタへの参加

<予定日>平成26年10月

<場所>道民の森(当別町)



茨木山林の現地調査団(ニセコ山林にて)



八雲山林 東側林縁のスギ林

## ☆お知らせ☆

### (1) 事務所の電話とFAXを廃止

経費節減の観点から、特に必要性がない電話とFAXを廃止し、E-mailも閉局しております。

今後の当会への連絡は、下記の携帯電話をお願いします。

### (2) 新しい仲間(新会員)の紹介

氏名(敬称略)	住所	加入時期	備考
山口 和久	釧路市	平成24年	
大政 三男	札幌市手稲区	平成24年	
石橋 康人	札幌市中央区	平成25年	
近藤 光雄	札幌市中央区	平成25年	元北海道副知事
辻栄 隆	旭川市	平成25年	
西村 良伸	当別町	平成26年予定	当別町議会議員
段坂 繁美	札幌市中央区	平成26年予定	北海道議会議員

## ◆編集後記◆

新たな森林利用として注目の「樹木葬墓地」と復活した「未来の森の野ネズミ被害」を特集にしました。何れも表面的な内容ですが、「北海道の森づくり」を推進のうえで、何らかのキッカケになれば幸いです。

\*本ジャーナルに対するご意見やご要望、情報や話題の提供をお願いいたします。

担当:岡田 連絡先:090-7087-2741

発行 NPO法人北海道に森を創る会

編集 北海道に森を創る会事務局

札幌市中央区北4条西5丁目1番地(北海道林業会館5階)

【連絡先】090-1302-9871(奈良事務局長)

090-9435-0712(濱出副理事長)



NPO法人  
北海道に森を創る会